

日本体育図書館協議会

2013年度 研修会

■日 時 2013 (H25) 年 11 月 18 日(月) 13:00~17:00 (12:30 受付開始)

■会 場 日本体育大学図書館閲覧室 (東京都世田谷区深沢7-1-1)
<http://www.nittai.ac.jp/access/>

■テーマ 「学位論文電子化とJAIRO Cloud
ーリポジトリの構築・引越サポート構想を知るー」

大学図書館界では、学位規則の改正を受け、本年度末までに、ドクター論文の電子的公開が義務づけられ、2014年度から国立国会図書館による自動収集の開始予定を受けて、機関リポジトリの整備が求められています。

学位論文電子化に関しては、2006年度に、国立国会図書館・国立情報学研究所・国公立大学図書館協力委員会の三者により、「学位論文電子化の諸問題に関するワーキング・グループ」が設置されており、今回の規則改正に関しても、改正に伴う「留意事項」を大学図書館に配布して対応しています。また本年6月には、オープンアクセス・サミット2013「博士論文のオープンアクセスを実現する」(NII)が開催されています。NIIにおいては、全国で説明・講習会を用意し、広報に努めている、その真ただ中の時期でもあります。

中小規模図書館の多い体図協加盟メンバー館にとっては、自前のリポジトリを構築準備中の所も多く、緊急対応が迫られる話題として、大きな関心事の一つに浮上しています。

今年度の体図協研修会では、「リポジトリの構築・引越サポート構想を知る」という呼びかけの形で、「学位論文電子化と JAIRO Cloud」をテーマに掲げ、尾城孝一氏(国立情報学研究所)と、内島秀樹氏(筑波大学附属図書館)に講演をお願いしました。

オープンセミナーとして設定された二つの講演と質疑応答を用意して、緊急課題となったこのテーマを、ともに考える場にしていきたいと思ひます。

■ 研修会日程

12:30~

受付

13:00~

開会あいさつ・事務連絡等

13:10~14:25

講演① : 尾城孝一(おじろ・こういち)氏(国立情報学研究所)

演題: JAIRO Cloud とリポジトリ支援の概要

14:25~14:40

休憩

14:40~15:55

講演② : 内島秀樹(うちじま・ひでき)氏(筑波大学附属図書館)

演題: 自前リポジトリを JAIRO Cloud に引越す

ー筑波大学での学位論文電子化と引越の実証実験状況ー

15:55~16:10

休憩

16:10~16:40

質疑応答

~17:00

事務連絡・閉会

* 図書館見学(希望者)